

社説

市區改正の速成を望む

東京市は我國の首府にして全國の繁盛を集むる中心の場所なれば其規模體裁自から相當の壯觀を具へざる可らず左れば道路橋梁を改良して人車馬の通行を安全ならしめ河川溝渠を疏通して貨物の運輸を便にし水道下水の類は勿論家屋の制をも新にして市街の整頓を謀り市民の衛生を進むるの必要は明白なれども遷都勅や新計畫に着手の暇なく家屋を造るにも道路を開くにも從來不規則の仕來りに一任したるが故に市街の體裁甚だ不整頓にして不都合極まる有様を呈したり東京市にして往時の如き都會ならんには差支なけれども首府のまぐる繁盛に起くに從て其不都合ますく明白となりしかば或る一部の人々は明治十五六年の頃より市區改正の必要を唱へたり是より先き政府にても從來の道路銀座街の焼失後新築の家屋は塗壁となす可き制を定めて煉化石造などなし其後或は市街家屋の簷端を断截せしめ或は焼失後新築の家屋は塗壁となす可き制を定め又或は新に河川を開鑿したる等當局者の盡力も少なからざりしかばも皆一時一局部の必要に出でたるものにて全般の普及を期したるに非ず眞實市區改正の實効を據れば道路を一等より五等までに分ち其路幅を六間乃至二十間とし隅田川の川幅を一定して其流心を整ふる演より東北地方に輸送す可き貨物の運搬を便にするは勿論市内に於ける運搬とも鐵道に依らしめ他日東京灣の築港成るに及んでは該港より陸揚入は積込み貨物の運送を容易にし又橋梁は四等に區別し其幅員を三間乃至十間に擴張する等にして改正の方針は成る可く舊地下水の敷設等必要な事業少なからず審査委員が其設計に依て漸次改良の方法を施すに在り元來市區の改正は道路橋梁河川の改良に止まるものに非ず家屋の制水道正と全市に普及する事とせり素より道路の改良実績の改進河川の浚渫公園の擴張橋梁の架設等眞市繁盛を謀り市民の衛生を進むるに必要な事業たるに相違なけれ六箇月改正事業の内にて最も必要にして一日も懈ばず可らざるは本體の改良なら改正の目的を達せんとならば先づ之を完成せざる間らず左れば當局者に於ても實利より此事に着目ひて達成を望みたれ其費用を計りず其上水下水共にして千萬圓以上にして容易の事無く而して市區改正の費用には自から定めかれて

其中より水道の費用を拂ふるの餘裕なければ政府は明治廿三年水道條例を發布し水道工事の設計並に同工事に供す可き財源を定め爾來その事に着手して今正に工事中なり右は今日迄の事實にして其設計を若々實施するときは市區改正は自から完成す可き筈なれども目下の實際に其事業の進行如何を見るに中央肝腫の市區さへも未だ改正の利に沿する能はず道路の改良の如き唯道幅の取擴のみを主眼として修繕維持の法を講ぜざるが故に少しく降雨の續くときは溝路泥濘に變じ又晴天の日には恰も砂地の觀を呈して人車馬の通行に非常の困難を與へるは毫も改正前に異ならず其眼目とも云ふ可き道路の不完全なる斯の如しありては他の事業の進まざるも怪むに足らず斯る始末にては今後幾年を経て改正の完成を見る可きや甚だ覺束なきにして其間には府下の商賣次第に繁昌を懼はずと共に地價はますく騰貴して人家の立退取拂又は土地の買上等に非常の費用手數を要するば勿論種々の苦情反対も起りてますく進行の困難を感じるに至る可し改正の設計定まりてより殆んど十年なるに今日の如く失火を得て其焼跡に改良を施すが如き通緩の方法にては今後百年を経過するも事業の完成は見る可らず堪へ難き次第なれば不斷然決斷して當初の設計に従ひ擴張す可き道路は之を擴張し架設す可き橋梁は之を架設し上水下水の制を速成を謀りて東京の市區をして社會の進歩に副はしめざる可らず此の如きは實に市の繁榮を増すの基にして又實に全國の利益を進むる道なればなり

○グラードストーンの大文章（四）

土耳其の殘餘の部分中クリート鷲は長らくの間
云の暴虐壓制に對し堪忍最も少かりしものゝ一
頃ジナッヂオース氏の投訴に依て公衆の眼前に
されし數度の叛抗の一に於て起りしもとを覽ゆ其
若しくは三百のクリート人は戦事いよ／＼破裂
する最後の危機に迫られしどき土耳其人が打勝
敵を取ぬん手並は毎度の例に據て知たる身の想
さへ身毛の彌立つ虐殺暴行を受けんよりはとて
等の僭正と共に一塔の内に集まリ其塔を破裂せ
死を共にしたり然るに勇武喜す可きクリート鷲
や復た義兵を擧げたり然れども事の委細は二月
のタイムス紙上に出でたるジナッヂオース氏の
明にして之に對する答辯は余の知る所だけに
未だ見當らず唯だクリート鷲民の前途無望なるは
是まで孤獨なるをも顧みず抑壓非道より身を脱
爲め土耳其实國の全力を引受けて長時期の間
の戰を爲したる幾多敵軍に徵して知るを得可し
ヂオース氏は千八百三十一年、同四十一年、同
八年、同六十六年より六十八年、同七十七年より
八年、同八十九年及び最後に千八百九十六年の叛
歎へ舉げたり是等の年號列記は以て其叛抗の効力
を爲すは人情の常に非ず蓋し此壓制の委曲、及び
其がクリート鷲民に譲與したりと陽に稱しながら
之を無効化せしめて廢却せしめたる詐欺、並に
議與の計畫に武力を以て抵抗せしめたる土耳其实
のれを無効化せしめて廢却せしめたる土耳其实
政策、凡そ此三者は其適當の採り場所たる時の歴
史に現はれたる數條の事實をば唯だ其概略を記し
數へ立るのみにても土耳其实政府の有罪を明
かに論じ進むるは無用の辯なり我々は既定の事を論
じて探求せらる可きのみ
るに足る可く同政府が其血腥くして而も無効力な
配權を享有するの權理なきを示すに足れり是より
なり如何となれば六強聯は假令ひ自家自由の意
山でたるにはわらねぞ兎に角にクリート鷲の平和
と其今後の運命決定などを引受けたり然れども我々
十秒を以て是まで感む可く賤む可き無氣力の合同
を以て常とせし所の列國會議の氣力再興に歸す
とは異なりたる新氣質に支配さるゝ新役者、舞臺

に出現し來りたり此兵、無限の財源を以てじて歐洲諸國の間然、土耳其とクリー
スの戰に從事して亞
掃せしものなり希臘
へるが如く身丈低し
り彼は其小なる脛
して彼の威概以
行爲に於て再生した
我々は六強國の舉動
心もて動かさるしか
の空大なる團體を成
思なり我々は我眼
スに向ふの字義通し
希臘は又預言され
に非ず則ち全世界の
活氣の在るふとにし
を若しも天の保護にて
吹込まれしものなり
に至らんか斯の無
可らず如何となれば
ばなり又斯る諸大國
非ず如何となれば抑
しとき鳴民は彼等の
希臘がクリートを
に知られたる形態上
現存の混亂中より何
とも總べて是れ希臘
と無信の爲めに起
しは終始變ぜぬ彼の
權は八方に棄却され
の聯合六強國が是
も事情の如何は暫
時及び施政を土帝の
に於て其性質は甚
沙に権理からしむ
謀説偽なら然るに土
國がカニアに於て是
ものは一開信し雖
各所葉否彼等が彼
達の酷甚だしき
相違なし即ち希臘